

学校の沿革と教育目標

近藤 雅臣

大阪保健福祉専門学校 学校長

医学博士 大阪大学名誉教授

略歴・大阪大学大学院医学研究科修了、元大阪大学薬学部長、元大阪大学総長補佐、現総理府中央環境審議会委員、厚生労働省食品衛生調査会委員、経済産業省化学品審議会委員、大阪府薬事審議会会長、大阪府環境影響評価審査会会長、環境保全功労者 等

大阪保健福祉専門学校は1997年4月1日付で設置されることを同年2月6日大阪府知事により認可されました。これに基づき学校法人大阪滋慶学園においては第2番目、滋慶学園グループ全体においては第15番目の専門学校として開校しました。本校は看護学科、介護福祉科、社会福祉科、保健保育科、医療秘書・情報科、精神保健福祉科（精神保健福祉士一般養成施設）、社会福祉専攻科（社会福祉士一般養成施設）、専攻科の8学科により構成されています。保健、医療、福祉それぞれについての専門的知識、技術の修得はもちろんのこと学科にこだわらず、これらの分野を総合的な幅広い視野でとらえ得る人間性豊かな人材を養成することを目標としています。

全ての滋慶学園グループ校では、実学教育、人間教育、国際教育の実践を共通の基本的理念とし、その上に各校の専門領域に即した教育目標、教育方針の理想を掲げ、教職員一同その実践に努力しています。

新しい世紀に入り、今、保健、医療、福祉の問題は大きな変革の時期を迎えています。少子高齢社会への移行に伴う医療制度や福祉制度の制度改革の必要性が論じられ、介護保険制度の施行を始めとした改革が進展しており、今後ますます老人看護、老人介護、在宅看護、在宅介護、訪問看護など、その必要性が増大するものと予想されます。そのため、これからは制度改革の進展に沿って新たに必要とされる人材の育成が不可欠なものとなります。医療福祉の現場においては、専門的知識や技術の卓越さだけでなく、自らが置かれている現場における即応性や創造性、人間性がますます問われることになるからです。

一方では、医療技術、医療情報の目覚ましい進歩があり、また、国際化社会への進展という問題があります。

本校では、医療、保健、福祉分野それぞれにおいて、専門的知識、技術の修得をはじめ、お互いに広くこれらの分野に対応できる能力と創造性をもつ人材の育成を目指していますし、上記の諸問題をいかに確実に教授し、優れた人材を育成して社会に送り出すことができるかが本校の責任であると自覚しています。そして以上の教育目標がいかに生徒にとって大切なものであっても、また、いかに医療制度あるいは社会の仕組みが変わったとしても、もっとも重要であり絶対不変の基本的理念は生命の尊厳そして重大さを心にしっかり刻み込むことを認識させることであります。